



ほろのべ

北緯45度のまち

# 議会だより

## 第50号

発行 幌延町議会

編集 議会報発行特別委員会

電話 01632-5-1111

FAX 01632-5-2971

## 第7回 定例 幌延町議会

第7回幌延町議会定例会が、議員全員出席のもと12月10日開会され議長から諸般の報告、町長、教育長の行政報告のあと1氏が一般質問を行った。  
今回の議会に提出された議事案件は、同意2件、議案15件、発議3件が可決、同意された。

おもな内容	平成21年度補正予算	2
	地域の課題をとらえて 一般質問	3
	議案の質疑	3
	常任委員会活動	4
	議会の動き	5
	編集後記	5

## 平成21年度 補正予算

### 歳出の質疑

**問** 計上されている積立金2千3百90万円を減債基金に充てた理由は。

**答** 減債基金とは、町債の償還に充てるための積立金で、今年度は国の経済対策により事業量が増え町債の額が大きくなった。将来への財務的負担を減らすために減債基金に充てる事とした。

**問** 子育て応援特別手当を支給事業の廃止理由は。

**答** 政権交代により国が事業の廃止を決定したため。

**問** この事業を町の単費で行なう考えはないのか。

**答** 現段階では考えていないが、今後国の動静を見ながら検討していきたい。

**問** 消費者行政活性化事業で76万2千円を新規計上している。悪徳商法等の対策事業と云う事だが、どのように事業を展開していくのか。

**答** 消費者行政を幅広く強化していくと云うことで、担当者の研修旅費、普及啓蒙用のパンフレットの作成、講師を招き町民皆さんに周知を図っていく。

**問** 消費者庁が出来て予算付けされたことだが、事業の必要性は何か。

**答** 町民皆さんの意識を高めて、犯罪被害を未然に防止すると云うことで理解をしている。

### 総括の質疑

**問** 中央保育所について、今後、正職員で人員を増やす考えはないのか。

**答** 22年4月1日から正職員1名を配置する計画。

**問** 次世代育成支援のアンケート調査の結果、保育費の軽減を望む声が一番多かったが今後どう反映していくのか。

**答** 国の示す基準額の8割相当分を保育料として徴収している。他町と比べても高いという認識はない。

**問** 農道整備事業について国の予算は今のところゼロだが、今後集乳道の事業は継続できるのか。

**答** 現段階では見当がつかないが、継続事業なので途中で止めると云うことにはならないと理解している。

**問** 道々の除雪について、一部が町の委託業務になったが距離的にも多くの道々を委託できないのか。

**答** 道々の除雪を町が委託できたのは要請を続けてきた結果だろうと思う。今後もしも二重行政の無駄を省き、地元業者が除雪に携わって行けるように最善の努力と交渉をしていく。



保育所の子どもたち(中央保育所)

# 地域の課題をとらえて

## 1氏が一般質問



鷲見 悟

Q、酪農の担い手対策をどうするの

A、農協と協議して進める

Q、深地層施設関連の実規模(PRR事業)の予算はなぜ減ったのか

A、町としては知らない

つつ組織論というものをなされている」と述べているが、町長としてどう考えるか。

町長 平成12年11月の科学技術庁、現在の文部科学省が立会となり、北海道と幌延町、核燃料サイクル機構の3者が放射性廃棄物を持ち込まない、使用しない、最終処分場にしないことを定めた協定を結んでいる。これを遵守して事業が進められると考えている。

質問 文部科学省の発言についてどう考えるのか。  
町長 よく分からない。答える立場にない。

質問 民主党が推進する個別所得補償方式は、農家として歓迎すべきものがあるが、町長としてどう考えるか。

町長 酪農も予定に入っているが、今後の展開を注視したい。

質問 今年度の長雨で北海道全体としては6百億円の被害が出ているが、幌延町の被害額はいくらになるか。  
町長 牧草で3千2百万円、デントコーンで2百万円。合計で3千4百万円程度となっている。

質問 農協が構想している農業法人への支援策についてどう考えているか。

町長 農協全体での決定であれば、設立に関する事務、農地法に係る事務等の支援を考えている。

質問 新規就農、担い手対策について進捗状況はどうか。

町長 農協の法人構想の中に新規就農の担い手対策が盛り込まれており、町として期待している。

質問 深地層研究施設の平成22年度予算はいくらか。  
町長 36億円と聞いている。

質問 事業仕分の中で、担当省庁の文部科学省は大変微妙な発言をしている。現在の原子力委員長も「ある時間を経てある議論を経ると、視点が決まる」とそういう仕掛けを明示し

「ある時間を経てある議論を経ると、視点が決まる」とそういう仕掛けを明示し



昭和36年の写真(牧草収穫状況)

### 議案の質疑

議案に対する質疑は次のとおりです。

▽議案第2号、第3号 財産の取得について

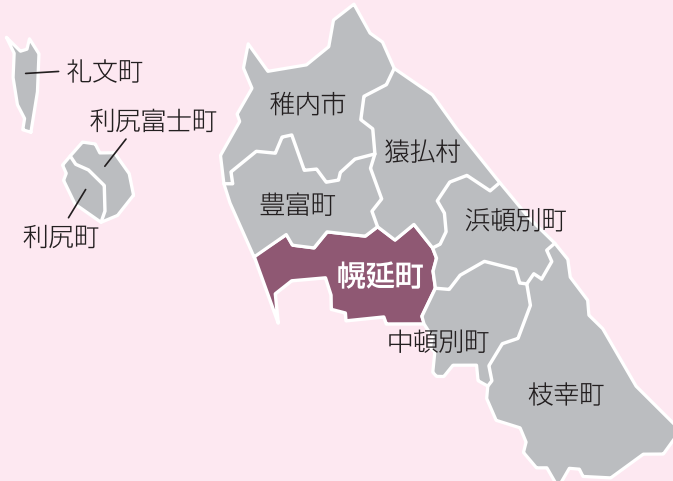
問 各学校に配置する「地デジ対応デジタルテレビ」42台と「パーソナルコンピュータ」93台の購入にあたっての条件は何か。  
答 各学校の整備計画を基に今後のメンテナンスや仕様書等、条件を附して契約した。

問 購入にあたって地元業者を中心に行われたとの事ですが今後も地元業者で考えているか。  
答 地元で調達できるものについては地元からを基本的に今後も考えている。

▽議案第4号 幌延町安全で安心なまちづくり推進条例の設定について

問 空地空家など防犯に配慮した適切な管理が出来るか

## 宗谷支庁管内図 (平成22年4月から)



宗谷支庁管内の議員定数と人口 (平成21年12月末日現在)

市 町 村 名	議員定数	人 口
幌 延 町	10	2,620
猿 払 村	9	2,823
浜 頓 別 町	10	4,174
中 頓 別 町	8	2,019
枝 幸 町	22	9,313
豊 富 町	10	4,540
礼 文 町	10	3,078
利 尻 町	8	2,537
利 尻 富 士 町	9	2,959
稚 内 市	22	39,232
宗 谷 管 内 計	97	73,295

※枝幸町の議員定数については平成22年4月から14名となります。

い場合はどう対応したらよいか。  
 〇 防犯を前提に隣近所町内会、また地域の方の協力を得ながら解消していきたいと考えている。  
 〇 財政上の措置について今後どう検討されていくのか。

〇 今後は推進協議会を立ち上げ基本計画を策定し予算組みになると考えている。

▽ 議案第5号 留萌広域行政組合規約の変更について

〇 児童等が犯罪に遭わない様にするための規範意識を持たせる等学校にどの様な指導を考えているか。  
 〇 交通安全をはじめ危機管理のための機器の整備等を含め安全教育の充実を更に指導していきたい。

〇 平成22年4月から宗谷支庁に編入する上での変更と考えているが、宗谷支庁にもこの様な広域組合等があるのか。  
 〇 地方自治法に基づく組合等はないが今後稚内市を中心とした定住自立圏等を前提に連携体制が構築できるものと考えている。

## 常任委員会 活動

### 第5回総務文教常任委員会

昨年11月27日開催され、平成2年3月に作成された「幌延町地域防災計画」がこのたび全面修正され委員会に報告された。

この計画は「災害対策基本法」及び「幌延町防災会議条例」に基づき幌延町防災会議が作成する計画で町の区域に係る防災に関し、予防、応急及び復旧等の災害

対策を実施し町民の生命及び財産を自然災害や自己災害からの保護を目的とした計画です。

### 〈審議〉

〇 避難所の地図は計画書の中に載せないのか、又各戸に配布をしないのか。

〇 洪水ハザードマップに危険箇所図と避難所を表示するか、避難所一覧表の形でお知らせしたい。

〇 災害発動時の要援護者支援の具体的なマニュアルが必要なのではないか。

〇 個人情報保護の絡みもあります。今後安全安心推進条例を制定し個別計画を作成していきたい。

〇 災害発生時の町民への周知方法はどの様にするのか。

〇 発生する災害により避難所などに変更はあるが、防災無線、消防サイレン等で周知していく。また今後は光ファイバー網を利用したIP告



避難場所(総合体育館)



知システム、双方向通信システムで直接各家庭に情報を伝達できると思う。

### ■産業厚生常任委員会

#### 《北星園新園舎視察》

昨年12月29日に供用開始してまだ2ヶ月足らずの真新しい園舎を委員会主催で議会議員全員が視察した。「幌延町自律プラン」でも北星園の全面改修と民営化が明記され行財政改革の重点項目でした。

計画時から、委員会として協議に参加し建設途中でも内部調査や説明を受けて来たが、完成園舎は全室床暖となり、食堂、廊下、各居室などは以前より広く間取りされ、生活環境が改善されていた。

食堂ステージ上には父母会より寄贈されたサロベツ原野の眺望をイメージしたモニュメントがあり、目を引いた。

今回の新園舎の利



北星園視察

用者数定員は60名でその他は町内市街地区6ヶ所の一体型グループホーム・ケアホームで生活している。

その中でも今年度より使用開始した北の星(旧役場独身寮)あすなろ(旧北電独身寮)の両施設を視察した。北の星には男性6名女性11名が入居し4名の世話人や生活支援員が配置されていました。

又、あすなろには男性9名が入居し日中は北星園の食肉加工場や有機野菜栽培などの総合訓練施設に通動しています。



父母会より寄贈されたモニュメント

家賃や食費等の生活費用が必要となりますが、利用者としては比較的自由な行動ができ、地域社会にとけこむ良い機会だと思えますが、町民皆様のご理解と暖かい協力も不可欠と感じました。

最後に年末の多忙の中、職員の皆様には委員会活動の視察調査にご協力頂き感謝申し上げます。今後平成23年度予定の施設運営の民営化計画もあり、北星園運営者、利用者が活動しやすい施設となるよう委員会としてさらなる審議をいたします。

## 議会の動き



- 10月20日 ▼ 第47回議会報発行特別委員会
- 10月23日 ▼ 第5回町議会臨時会  
第48回議会報発行特別委員会
- 10月26日 ▼ 天塩川治水促進期成会役員会
- 11月7日 ▼ 留萌開発期成会
- 11月9日 ▼ 第4回議会運営委員会  
留萌広域行政組合議会
- 11月10~11日 ▼ 第53回町村議会議長全国大会
- 11月12~14日 ▼ 留萌管内町村議会議長会行政視察
- 11月20日 ▼ 第6回町議会臨時会  
第2回議会
- 11月27日 ▼ 第5回議会運営委員会  
第5回総務文教常任委員会  
第5回議員協議会(第2回議会改革について)  
北留萌消防組合議会定例会
- 12月4日 ▼ 第49回議会報発行特別委員会
- 12月10日 ▼ 第7回町議会定例会
- 12月15日 ▼ 第50回議会報発行特別委員会
- 12月24日 ▼ 第51回議会報発行特別委員会
- 12月29日 ▼ 産業厚生常任委員会北星園視察

### 編集にあたって

昨年は世界的に新型コロナウイルスが流行し大変な年でした。また国政についても歴史的な政権交代があり本年度の補正予算を始め22年度予算についても地方行政における予算の見直し等不安を感じる処であります。

幌延町は、4月から宗谷支庁に移管となりますが、一次産業を始め観光事業等稚内市を中心に今後どう取り組んでいかなければなら

ないか大いに期待と行動が望まれます。また3月に開通される幌富バイパスを動脈として、行政、医療、経済等が本町にとって、今後益々発展する様望むところであります。

終わりに「議会だより」の発行にお気付きの点等がありましたらご一報下さい。

編集委員長 植村 敦  
副編集委員長 無量谷 隆  
編集委員 菅原 利彦  
西澤 裕之